



四国西予ジオパーク
SHIKOKU SEIYO GEOPARK

西予市議会だより

かけはし

かけはしになれる議会 親しまれる議会をめざして



令和4年 第1回 定例会



いよいよオープン 四国西予ジオミュージアム

左からジオミュージアム館長の高橋司さん、城川町在住の
ジオガイド山本政枝さん、楠野峰子さん、宇都宮知江さん
(関連記事：16 ページ)

R4 年度予算ここ注目
委員会の事務調査報告
高校生と市長との意見交換

令和4年度予算

ここに注目!!

 源 正樹 持続可能なまちづくりへ 限りある財源の中で真に 必要な事業の実施を	 小玉忠重 溪筋地区体育館建設事業 災害時の避難所としての活用に期待	 竹崎幸仁 事前復興計画策定への強い期待 人命最優先での 「備えあれば憂いなし」を!
 二宮一朗 地域づくり活動センターに魂を 我が地域に希望の 未来創造の対話推進を	 中村敬治 森林経営管理制度事業 適切な管理で温暖化防止 持続可能な未来を	 井関陽一 産業創出庶務事業 SDGsを見据えた エネルギーの地産地消
 酒井幸之吉 ウィズコロナを見据えた支援策 感染防止、生活対応、 経済対策の強化を	 森川一義 消防本部署庁舎建設事業 地震が起きると言われる時に ヘリポート重要	 兵頭学 野村地区都市再生整備計画事業 被災から4年目を迎え早期復興を

令和4年度 一般会計予算

317億6000万円を可決

議員 18 名が注目する予算は

注目



 和気数男 一次産業予算とコロナ経済対策 一次産業に地力を コロナ禍の弱者対策を	 副議長 宇都宮俊文 担い手育成支援事業 認定農業者の設備投資等に助成を	 議長 佐藤恒実 せいの地域づくり事業 小規模多機能自治のさらなる推進を
 加藤美香 行政DXの推進 市民のニーズにあった サービスの向上を	 信宮徹也 地域づくり活動センター推進事業 センター移行に大事な1年 協働で活力を	 宇都宮久見子 四国西予ジオミュージアム開館 地域活性化と産業形成で経済振興を!
 山本英明 四国西予ジオミュージアム ミュージアムの健全運営と 集客に期待する	 河野清一 地域づくり活動センター推進事業 わが町の地域づくり丸は どのような仕様に?	 中村一雅 災害事前復興計画の策定 南海トラフ大地震に備えた 生命を守る施策を

令和4年 第1回定例会



西予市のこんなことが決まりました。

会期 2月24日～3月17日

会議期間 22日間

第1回定例会の議案は

令和4年度予算	11件
令和3年度補正予算	11件
契約	2件
財産の無償譲渡	1件
条例改正	13件
市道路線の認定・廃止	2件
土地改良事業の施行	1件
農業委員会委員の任命	19件
人権擁護委員候補者の推薦	8件
副市長の選任	1件
固定資産評価員の選任	1件
議員提出議案	3件
議会報告	1件

今号では、その中から2つをPick up

全ての議案と結果は、P.6をご覧ください。

議案ピックアップ



〈議案第24号 令和4年度一般会計予算〉

Pick up 1 野村地区において、豪雨災害からの復旧・復興事業が本格化します

肱川の河川改修に伴う石久保橋架替事業、市道改良事業、都市構造再編集中支援事業の施行については、河川管理者である県と道路管理者・公園管理者である市が協定を締結し、令和6年度までの期間で事業が推進される。

野村地区の復興まちづくりについては、のむら復興まちづくりデザインワークショップ及び地域の各種団体からの提案や意見を頂きながら引き続き進められる。

新しい野村支所庁舎が令和4年8月末に完成し、10月24日から開庁の予定である。西予警察署野村交番、東宇和農業協同組合野村支店、愛媛信用金庫野村支店が入る複合施設であり、安心・安全で多機能な住民サービス提供が期待される。

被災した野村市街地（野村支所及び肱川周辺）において、道路・多目的広場・公園・駐車場等を整備するための市道改良や用地取得を行い、肱川右岸側において、市道改良及び児童遊園・防災広場整備が実施される。

〈議案第24号 令和4年度一般会計予算〉

Pick up 2 地域づくり活動センター移行に向け、準備が進められます

令和5年4月に公民館が地域づくり活動センターに移行する予定である。

令和4年度は、土居、大野ヶ原、下泊地域づくり活動センターの整備、二木生地域づくり活動センターの設計を行うほか、公民館についても、地域づくり活動センターへの移行に向けた施設の改修・整備を行う。

また、地域から要望のあった地域任用職員11名分の試験的運用を行う経費を、地域づくり交付金を増額して対応する。

議決 第1号 ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議を全会一致で可決

意見書 第1号 国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書を全会一致で可決

令和4年度予算総額 529億6072万円
一般会計当初予算 317億6000万円
特別会計当初予算合計（5会計）125億9285万円

○育英会奨学資金貸付特別会計	1659万円
○国民健康保険特別会計	51億6061万円
○後期高齢者医療特別会計	7億6058万円
○介護保険特別会計	63億3983万円
○農業集落排水事業特別会計	3億1524万円

公営企業会計（5会計） 86億788万円

○水道事業会計	14億8322万円
○簡易水道事業会計	1億7371万円
○公共下水道事業会計	9億212万円
○病院事業会計	53億2794万円
○野村介護老人保健施設事業会計	7億2089万円

※金額は、万円未満切り捨てのため、合計が一致しない場合があります。

A 令和4年度から採用する防災及び災害対応などに関する専門的な知識経験を持ち、国が認める地域防災マネージャーの資格を有する一般職任期付職員に登用詳細は

Q 内閣府の防災スペシャリスト養成研修や、防衛省の防災危機管理教育を受講した方、あるいは国の行政機関職員の課長補佐級相当職以上の職位を経験、かつ防災行政経験5年以上または災害派遣任務を有する部隊等経験2年以上の方を登用する。

A 入札減と整備途中における全体最適化であり、予定より戸別受信機本体アンテナでの受信戸数が増え、屋外に設置するダイポールアンテナ等の機材が減少した影響である。

Q 完了した防災行政無線デジタル整備事業の最終事業費が大幅減額となった要因は

14件の議案を審査

総務常任委員会



委員会では、本会議で付託された議案をより詳しく担当部署から説明を受け、調査・審査します。

A 野村中学校外壁改修工事によって施設を安全に使用できる期間は保証期間である最低10年は使用可能であるが、その後は中学校自体も老朽化が進んでおり建て替え等を検討したい。

Q 不登校児童生徒支援事業とは

A 宇和中学校に不登校生徒を対象としたサポートルームを設置し、不登校傾向のある生徒への支援を行う。

Q 新型コロナウイルス感染症に伴う市の社会体育施設の利用規制は

A 現時点の利用は西予市内に在住の方、市内に通勤通学の者に限る、を基本としている。

※市内公共施設の利用については、市HP等でご確認下さい。

所管事務調査 オフィス改革

多様化する市民サービスへの対応と職員の意識改革や働き方の見直しで生産性の向上を図るため、オフィスの環境の改革が行われた本庁1階から4階、教育保健センター3階を視察した。

本庁1階総合窓口、個別窓口でのワンストップサービス、2階子育て支援課横の相談スペース兼キッズスペース、各階に設けられているミーティング席等ハード・ソフト両面からより良い市民サービスが提供できるものと思われる。



キッズスペース（西予市役所庁舎2階）

令和4年 第1回西予市議会臨時会議決結果表

(令和4年1月14日)

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
議案第1号	令和3年度西予市一般会計補正予算(第10号)	1月14日	原案可決

令和4年 第1回西予市議会定例会議決結果表

(令和4年2月24日～3月17日)

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
議案第2号	CATV整備事業 野村サブセンター整備工事変更請負契約について	3月3日	原案可決
議案第3号	財産の無償譲渡について	3月17日	原案可決
議案第4号	西予市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について	3月17日	原案可決
議案第5号	西予市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	3月17日	原案可決
議案第6号	西予市社会体育施設条例の一部を改正する条例制定について	3月17日	原案可決
議案第7号	西予市あけはまオートキャンプ場条例の一部を改正する条例制定について	3月17日	原案可決
議案第8号	西予市単独市営住宅条例の一部を改正する条例制定について	3月17日	原案可決
議案第9号	西予市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	3月17日	原案可決
議案第10号	西予市消防団員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	3月17日	原案可決
議案第11号	市道路線の廃止について	3月17日	原案可決
議案第12号	市道路線の認定について	3月17日	原案可決
議案第13号	西予市営土地改良事業の施行について	3月17日	原案可決
議案第14号	令和3年度西予市一般会計補正予算(第11号)	3月3日	原案可決
議案第15号	令和3年度西予市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	3月3日	原案可決
議案第16号	令和3年度西予市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	3月3日	原案可決
議案第17号	令和3年度西予市介護保険特別会計補正予算(第3号)	3月3日	原案可決
議案第18号	令和3年度西予市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	3月3日	原案可決
議案第19号	令和3年度西予市水道事業会計補正予算(第1号)	3月3日	原案可決
議案第20号	令和3年度西予市簡易水道事業会計補正予算(第1号)	3月3日	原案可決
議案第21号	令和3年度西予市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	3月3日	原案可決
議案第22号	令和3年度西予市病院事業会計補正予算(第3号)	3月3日	原案可決
議案第23号	令和3年度西予市野村介護老人保健施設事業会計補正予算(第1号)	3月3日	原案可決
議案第24号	令和4年度西予市一般会計予算	3月17日	原案可決
議案第25号	令和4年度西予市育英会奨学資金貸付特別会計予算	3月17日	原案可決
議案第26号	令和4年度西予市国民健康保険特別会計予算	3月17日	原案可決
議案第27号	令和4年度西予市後期高齢者医療特別会計予算	3月17日	原案可決
議案第28号	令和4年度西予市介護保険特別会計予算	3月17日	原案可決
議案第29号	令和4年度西予市農業集落排水事業特別会計予算	3月17日	原案可決
議案第30号	令和4年度西予市水道事業会計予算	3月17日	原案可決
議案第31号	令和4年度西予市簡易水道事業会計予算	3月17日	原案可決
議案第32号	令和4年度西予市公共下水道事業会計予算	3月17日	原案可決
議案第33号	令和4年度西予市病院事業会計予算	3月17日	原案可決
議案第34号	令和4年度西予市野村介護老人保健施設事業会計予算	3月17日	原案可決
議案第35号	西予市農業委員会委員の任命について	2月24日	同意
議案第36号	西予市農業委員会委員の任命について	2月24日	同意
議案第37号	西予市農業委員会委員の任命について	2月24日	同意
議案第38号	西予市農業委員会委員の任命について	2月24日	同意
議案第39号	西予市農業委員会委員の任命について	2月24日	同意

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
議案第40号	西予市農業委員会委員の任命について	2月24日	同意
議案第41号	西予市農業委員会委員の任命について	2月24日	同意
議案第42号	西予市農業委員会委員の任命について	2月24日	同意
議案第43号	西予市農業委員会委員の任命について	2月24日	同意
議案第44号	西予市農業委員会委員の任命について	2月24日	同意
議案第45号	西予市農業委員会委員の任命について	2月24日	同意
議案第46号	西予市農業委員会委員の任命について	2月24日	同意
議案第47号	西予市農業委員会委員の任命について	2月24日	同意
議案第48号	西予市農業委員会委員の任命について	2月24日	同意
議案第49号	西予市農業委員会委員の任命について	2月24日	同意
議案第50号	西予市農業委員会委員の任命について	2月24日	同意
議案第51号	西予市農業委員会委員の任命について	2月24日	同意
議案第52号	西予市農業委員会委員の任命について	2月24日	同意
議案第53号	西予市農業委員会委員の任命について	2月24日	同意
議案第54号	野村中学校外壁改修工事請負契約について	3月3日	原案可決
議案第55号	西予市部設置条例の一部を改正する条例制定について	3月17日	原案可決
議案第56号	西予市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	3月17日	原案可決
議案第57号	西予市単独な業務に雇用される職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	3月17日	原案可決
議案第58号	西予市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	3月17日	原案可決
議案第59号	西予市野村介護老人保健施設つくし苑職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について	3月17日	原案可決
議案第60号	西予市病院事業職員の諸手当に関する条例の一部を改正する条例制定について	3月17日	原案可決
議案第61号	令和3年度西予市一般会計補正予算(第12号)	3月17日	原案可決
議案第62号	西予市副市長の選任について	3月17日	同意
議案第63号	西予市固定資産評価員の選任について	3月17日	同意
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	2月24日	同意
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	2月24日	同意
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	2月24日	同意
諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦について	2月24日	同意
諮問第5号	人権擁護委員候補者の推薦について	2月24日	同意
諮問第6号	人権擁護委員候補者の推薦について	2月24日	同意
諮問第7号	人権擁護委員候補者の推薦について	2月24日	同意
諮問第8号	人権擁護委員候補者の推薦について	2月24日	同意
決議第1号	西予市議会会議規則の一部を改正する規則制定について	3月17日	原案可決
意見書案第1号	国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書(案)の提出について	3月17日	原案可決
決議案第1号	ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議案について	3月3日	原案可決
議会報告第1号	西予市消防体制検討特別委員会報告について	3月17日	報告
	議員派遣の件について	3月17日	承認

表決結果

令和4年第1回臨時会・令和4年第1回定例会における表決結果については、全会一致です。

厚生常任委員会



15件の議案を審査

Q 特定不妊治療費助成金の内容は令和4年度から不妊治療が保険適用になるため、令和4年3月までに治療を受けた方、年度をまたいで治療を行った方への助成を行う。

Q 高齢者路線バス利用補助の対象区間が市内に限定されているが、市外の医療機関に通院している方も多い。補助対象区間を拡大するなど、実情に合った見直しが必要ではないか

A 現在、令和4年度からの公共交通計画策定を踏まえ、県内におけるバス助成制度等を調査研究しており、合わせて今後検討したい。

Q 避難行動要支援者名簿の作成状況は

A 名簿の整理は毎年行っており、令和3年度も75才以上で独居になられた方など新たに対象となる方451人、今までに送付して回答のない方893人、計1344人に対し令和3年12月に同意書を送付した。

今後、返送された同意書を確認し、要支援者名簿を整理していく。

Q つくし苑の介護士不足への対策はハローワークに求人を出すとともに、高校生対象の合同就職説明会で、若手の介護職員が直接つくし苑のPR活動等を行うことにより動機付けを行うなど様々な対策を講じている。

A また、新型コロナウイルス感染症対策で入国が遅れていたモンゴル人技能実習生が、令和4年5月末に2名着任予定となっており、期待している。

15件の議案を審査

Q 田んぼダムの実証試験期間と令和5年度以降の計画は

A 宇和町清沢地区と空所地区^{もくしよ}で令和4年度に実証試験を実施する計画で、試験期間は農作業期間内を予定している。

実証試験結果を基に、令和5年度には、宇和町中川地区で範囲を広げていく予定である。

Q 危険ため池及び要廃止ため池の件数と年間処理件数は

A 危険ため池（要改修ため池）が49池（内防災重点ため池45池）、要廃止ため池は27池（内防災重点ため池11池）となっている。

改修計画として、まず宇和町石城地区の地中池を、令和4年度～7年度で改修を行う予定である。その他のため池についても、令和20年までに年間2～3池を改修、廃止する計画で進めるよう、県及び地元ため池管理者と協議する予定である。

所管事務調査 「ななほし中川放課後児童クラブ」 の施設完成

「ななほし中川」は利用者の増加により、中川小学校音楽室と専用スペースの2カ所で運営するなど、手狭になっていたため、中川小学校グラウンド内に専用施設が完成した。

3月14日に開所し、多田・石城・中川地区の子どもたちが元気に利用を開始した。4月以降は45名の利用を見込んでいる。

今後子どもたちが、進んで放課後児童クラブに通い続けられる、遊び及び生活の場としての機能の充実を求めたい。



明るいメインホール
(児童クラブ施設内)

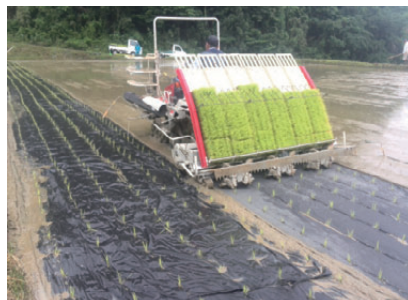
所管事務調査

特別栽培米の農家との意見交換

2月17日、特別栽培米を作付けしている農家の皆さんと米作りの現状と米農家の発展に関して意見交換を行った。

農家の皆さんからは、様々な栽培方法を試みたが、鳥獣被害の発生や収量が見込めないこと、普通米との米価に大差がないなどの問題点があげられた。

今後、農業に携わりたいと考えている方を市外から呼び込むためにも、産地指定によるイメージ戦略、スマート農業への取り組みを進め、後継者育成や新規就農者への補助制度の充実を期待したい。



水稲紙マルチ栽培（野村町阿下）

報告



総務・厚生・産業建設の3つの常任委員会で、それぞれテーマを決め、任期一年を通じて所管事務の調査研究を行いました。

総務常任委員会

●調査研究テーマ

- 四国西予ジオパークについて
- GIGAスクール構想について
- 防災の取り組みについて

ある。

桂川渓谷の崩落している橋の復旧について、地元からの要望を踏まえて、早急に検討すること。

●内容

四国西予ジオパーク再認定に向け、桂川渓谷、ジオミュージアム建設工事、下相海底地滑り跡について現地調査を行い、城川支所において、これまでの取り組みについて、意見交換を行った。

明間女性防火クラブの取り組みや防災活動について、意見交換会を開催した。

●市に対しての提言

豪雨災害で被災している桂川渓谷について、復旧するのか、被災した状況で保全するのか、方向性を早く明確にするべきで

四国西予ジオミュージアムについて、特に市内からの入館者を増やすための推進策を検討すること。

令和4年度から「いのちのカード」を市全体に導入されるが、全世帯に早期に普及できるように取り組むこと。

避難者の把握等にマイナバーカード等を利用するなど、防災についてもDXを取り入れた施策を進めること。

厚生常任委員会

●調査研究テーマ

- 医療・介護・保育職の人材確保について

●内容

令和3年7月19日、9月9日、12月9日に医療介護部および福祉事務所から、医療・介護・保育職の現状と課題について聞き取り調査を行った。

10月18日に西予市野城総合福祉協会と意見交換会を開催した。

●市に対しての提言

医療職の奨学金制度について、以下のように見直しを検討するべきである。

看護師を目指す学生が、卒業後何年か経過してから西予市に戻って、市立病院に就職することを考慮した奨学金返還の猶予期間の制定と返還免除要件の見直し。

医師を目指す学生が市立病院に就職した場合の奨学金返還免除規定の追加。

医療・介護職に特化した移住・定住施策として、令和2年に設置された西予市移住定住交流センターなどと協力し、移住交流サイトのHPで医師・看護師等の募集に関する情報を発信するなど、医療従事者に特化した移住・定住フェアの開催等の実現に向け、調査・研究に努めること。

学校教育において、地域医療の大切さを学ぶことは、将来の職業選択の機会を増やすと同時に、地域医療の確保の一環として大切であり、実現に向け、各学校と協議、調整を行うこと。

産業建設常任委員会

●調査研究テーマ

- 人口減少をゆるやかにするための産業振興について

●内容

令和3年8月19日に柑橘農家の三瓶町4Hクラブ、11月17日に自伐林家の皆さん、令和4年2月17日に特別栽培米の米農家の方々と意見交換会を開催した。

●市に対しての提言

ミカン農家における人手不足解消と新技術導入への支援を検討するべきである。

森林環境の保護と市内林家の存続のため、支援を強化するべきである。

西予市産の米に対する付加価値向上と水田維持のための取り組みを進めるべきである。



後継者不足は全国的な課題であり、スマート農業の推進は必須である。

持続可能な産業を進めていくためには、国や県からの支援だけでなく、西予市独自の施策が必要であると感じる。

独自の施策を行うことで魅力ある産業として位置づけられ、市外からも、市の産業に関わってみたいと思ってもらえるようになるために、現在従事されている方々が心からやりがいや魅力を感じるような産業になることを期待する。

消防体制特別委員会報告(抜粋)

①常備消防の施設整備について

新野村支署は現在の敷地を拡張し、女性消防吏員の採用も考慮した木造、鉄骨造を組み合わせた混構造の庁舎が令和4年度中に完成の予定である。本部新庁舎は宇和町神領に購入した土地を造成しヘリポートを常設した新庁舎を令和6年度中に建設予定である。

②広域化に関する調査研究について

宇和島地区広域事務組合消防本部と西予市消防本部の2本部による通信指令業務の共同運用に向けて、具体的な調査検討を進めていたが、双方の庁舎建設スケジュールの折り合いがつかず今回の共同運用は見送る結果になった。

しかしながら、双方とも共同運用実現へ向けての意識は非常に高く、今後の動向に注視していきたい。

③非常備消防の指揮命令系統の統一化について

関係市町による首長協議が行われ、八幡浜地区施設事務組合の消防事務から西予市が脱退することについて、協議を進めることの合意がされた。

現在は脱退に向けた協議の準備作業を行っている。

三瓶第三分署機能が西予市に移管されることに対し、今後とも三瓶地区住民の安心、安全の確保に向け、丁寧な説明を行い、理解が得られるよう求めるものとする。



● 一般質問



みなさんの生活にかかわる内容について質問を行います。

一般質問



宇都宮 俊文

津波避難計画について

Q 現在の避難方法を再検討するべきではないか

A 津波発生時の避難は、国の方針では徒歩による避難を原則にしている。しかし西予市沿岸部の地域性、高齢化の状況、また定期的や時間的な事を考慮すると、自動車による避難も有効かと思われる。

今後は色々な場面を想定した訓練を実施し、計画の見直しやマニュアル等の整備を行うとともに、地域においても事前の備えを検討いただきたい。

西予市の環境対策について

Q 西予市環境基本計画の内容は

A 本計画は、令和2年1月施行の西予市環境基本条例に基づき、環境保全及び創造に関する施策等を総合的かつ計画的に推進する目的で策定する計画である。

5つの基本目標を設定し、目標ごとに現状と課題を分析し、それに関する具体的な方向性や取り組み、進捗管理を行う指標を設定している。



津波避難場所（明浜町）

一般質問



山本 英明

四国西予ジオミュージアムについて

Q 建物の目的と施設・設備は

A 四国西予ジオパークの自然や地域の文化等の資料の収集と保管、調査研究等を行うとともに、常設及び企画展示、体験学習を通して、西予市全域に広がるジオパークの魅力を広げ発信し、地域振興及び教育文化並びに観光振興を図るのが目的である。

施設内はジオパークの資料、標本、写真をエリア別に解説する常設展示室、来館者が国内外のジオパークについて学習できるジオカフェエリア、専門員が企画展示を行う企画展示室に分かれている。

一般質問



井関 陽一

産業について

Q 循環型の社会を将来にわたり構築するためにバイオマスガス発電に取り組むべきではないか

A 現在は、バイオマスガス発電の検討は行っていないが、今後、国が進めるカーボンニュートラルやSDGsを踏まえて、畜産振興、環境対策、熱エネルギー再利用等の波及効果を含めた中で発電施設の検証について、J A等の関係機関と検討したい。

子育て支援について

Q 野村町での幼保連携型認定こども園への移行メリットと課題は



野村幼稚園の芝生化された園庭（野村町）

A 幼保連携型認定こども園とは、幼稚園と保育所のよいところを生かした施設であり、保護者の就労状況が変化した場合でも、園を継続して利用できるメリットがある。

園庭は基準面積を満たしているものの、現野村幼稚園の園庭を活用していく計画である。

移行時期が課題であり、令和5年4月を予定していたが、保護者から移行時期の延長を望む声が多く、職員も2年かけて万全な体制を作りたいの思いがあり、1年間の延長を含めて検討する。

一般質問



酒井 宇之吉

西予市の感染症対応について

Q 未就学児、児童、生徒へのインフルエンザワクチン補助制度の創設は

A 新型コロナウイルスについては、将来的に定期予防接種として実施することが予想され、今後予防接種に関する予算は増大することが見込まれる。

子育て世代の支援として、未就学児、児童、生徒へのインフルエンザワクチン補助の実施について検討していく。

医療体制について

Q 西予市民病院が全国表彰を受けた評価点は

A 救急医療体制の確保、救急救命士の資質向上のための研修受け入れ、地域の医療機関との連携や調整等を実施し、市立2病院を併せた市内の二次救急医療体制を構築したことが評価された。

令和3年度では全国で個人24名、3団体、10医療機関が受賞し、コロナ禍で日々厳しさを増す救急医療の現場において、今回の受賞は励みとなった。

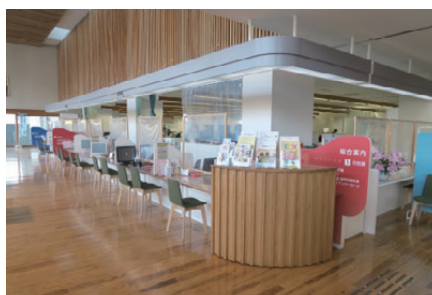


四国西予ジオミュージアム（城川町）

行政サービスについて

Q 新しい生活様式に対応した行政サービス構築事業による総合窓口の設置は

A 総合窓口の運用開始は今年の5月連休明けを予定している。併せて総合受付も設置し、来庁された用件をうかがって担当の窓口を案内すると同時に「総合窓口」や「個別窓口」の担当職員へ来庁された用件を通知し、市民の皆様がスムーズに手続きできるようにするほか、3階や4階フロアの案内なども行うことも想定している。



西予市役所の1階窓口

一般質問



二宮 一郎

Q 海面清掃船の宇和海への定期的な出動要請と持続可能な海岸維持の取組みについて

A 宇和海での定期的な海面清掃船の活動は、自治体からの派遣要請があれば判断をされて派遣をされると聞いている。沿岸部の市町と情報交換をしながら可能性を探っていく。

Q 宇和海での定期的な海面清掃船の活動は、自治体からの派遣要請があれば判断をされて派遣をされると聞いている。沿岸部の市町と情報交換をしながら可能性を探っていく。



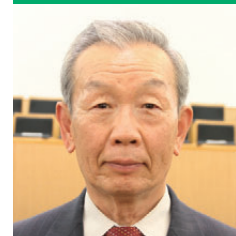
ボランティアによる海岸清掃
(三瓶町周木)

Q 電子図書を導入してはどうか

A 現時点で市民の皆様から導入の要望も聞かれないことから、今すぐの導入は考えていない。

これから世界的に生活全般にわたりデジタル化が進む中にある、電子図書が当たり前の時代が来るのも近いと考える。今後、どのようにすれば電子図書を安価で有効に活用できるようなものか、図書館のある県内の自治体と連携し、図書館長会等で協議していく。

一般質問



中村 敬治

南海トラフ巨大地震

Q 通行可能な道路確保に向けたレッカー移動協力、重機リース協力協定締結の現状は

A 道路の応急対策業務に係る協定は、愛媛県建設業協会西予支部と締結しているが、大規模災害時は市内業者のみでは重機等保有の状況から対応が困難である。県内でも重機リース会社やレッカー事業者との協定締結事例も見受けられることから、検討したい。



リース会社の重機 (宇和町西山田)

地域歴史遺産の保存と活用

Q 文化財保存活用地域計画策定作業の経過と今後の方針は

A 令和2年度から4年度までの3力年で案を作成し、令和5年度に国に認定の申請をする予定である。西予市の歴史文化の特徴を生かしながら市内の文化財を後世に伝承するとともに、文化財を地域づくりに役立てられるよう計画策定に取り組んでいく。

一般質問



和気 数男

Q 新型コロナウイルス感染症対策について

A 無料検査について

愛媛県では、県内の感染拡大を契機に1月5日から県内全域において医療機関、薬局などで無料のPCR検査及び抗原検査を行っている。当初は無料検査期間を2月末までとしていたが、感染拡大状況に鑑み3月末まで延長した。

※4月8日現在、無料検査期間は4月30日まで延長されました。無料検査は、レデイ薬局インター店(抗体検査)で受けられます。

Q 野村地域における認定こども園移行について

A 今後の認定こども園移行はどのように行うのか



野村幼稚園 (野村町)

A 現在、新型コロナウイルス感染症の急拡大を受けて、開催を見送っているが、できるだけ早い時期に、第2回保護者説明会を開催したい。その後、地域の方々からもご意見をいただくため、地域説明会の開催を計画している。

また幼保連携型認定こども園の移行に伴う職員の研修会や教育、保育方針やカリキュラムの作成、幼稚園児と保育所園児との交流事業、保育園行事や保護者活動などの在り方の検討を進めていく予定である。

高校生と市長とのオンライン意見交換

高校生と議会との意見交換会

1月14日に市内3高校の生徒と管家市長との意見交換会を、オンライン形式で行いました。

前号掲載のとおり、12月に高校生との意見交換会を実施しました。この中で出された意見や提言、要望について、市長が直接回答する場として初の試みです。

宇和高等学校三瓶分校から提案された、「市内の特産品を用いた市内高校対抗の料理対決を行い、市の魅力を再発見できるような予算をつけてほしい」との要望に対し、市長から令和4年度の事業化が明言されました。高校生の意見に対して、市長を始め、担当部課長からも答弁があり、高校生の自由闊達な発想を基に、活発な意見交換となりました。



高校生からの提案を聞く管家市長 (左) と佐藤議長

きかせて！あなたの夢



西予市の小学生が将来の夢を語るコーナーです。



ながしま ゆきみ
長嶋 倅未さん（三瓶小学校6年）

私の夢は、小説家になることです。わたしは、2年生のときに少しこわい話を読むのが好きになり、そこからたくさん本を読むようになりました。そして、5年生になってから「私も物語を作ってみたい。私が創る新しい世界を書いてみたい。」と思うようになりました。今では、家のパソコンでちょっとした物語を書いています。それは、架空の国で起こる、現実では絶対にあり得ないお話です。小説家になるためにもっと本を読んで言葉をたくさん学んだり、書く力を伸ばしたりしようと考えています。

小さいころ、いろいろなことを教えてくれた本、私が夢中にさせてくれた本のように、今度は私が小さい子たちに夢を届けられるような本を書きたいです。

四国西予ジオミュージアムが開館

西予市城川支所の向かいに四国西予ジオミュージアムが4月23日に開館します。新しい施設に期待を寄せる地元城川町のジオガイド3名の皆さんに開館を目前に控え、お話を伺いました。

■ぜひ四国西予ジオミュージアムに来て、パンフレットだけでは感じることができない、楽しい体験をしてもらいたい。そして、西予市内に出かけてもらいたいですね。■城川が大好き。地元の方が、ジオパークへの興味を深めて、すばらしい地域に住んでいるんだということに気づいて、内から外へ情報を発信してほしい。■西予市全体がジオパーク、ここに住む一人一人がこの自然や環境を大事にする気持ちを高めることができればいいですね。



編集後記



現在の編集委員による議会だよりも今回がひと区切りとなります。市民の皆さんからたくさんのご意見をいただき、反省する事や改善する点が多くありました。今後の参考にしながら、より良い「かけはし」にしたいと思っています。

また、新型コロナウイルス感染症も減少傾向には至っておらず、とても心配されます。市民のみなさま、なるべく万全な対策をして、早く日常生活ができるよう願うばかりです。ありがとうございました。

宇都宮俊文

◎編集委員

委員	河野 清一
副委員長	中村 一雅
委員	和氣 数男
	信宮 徹也
	宇都宮 俊文
	小玉 忠重
	源 正樹



PRINTED WITH
SOY INK

この広報紙は、資源保護と環境に配慮して再生紙、大豆油インキを使用しています。